

勢小だより

平成30年6月27日

勢和小学校



水泳が始まりました

沖縄では梅雨明け宣言があり、今年も子どもたちの元気な声がプールから聞こえてくる季節になりました。まだ少し水

温が低めですが、水泳を終えて教室に戻ってくる子どもたちに声をかけると「気持ちよかった～！楽しかった～！」とニコニコ顔で応えてくれます。低学年ではまず安全に気を付けて、水に慣れ水泳の楽しさを知ること、中高学年では水泳を楽しむとともに、それぞれが自分の目標をもって泳力を高めていく指導をしています。あと3週間、お天気に恵まれ、子どもたちが楽しみにしている水泳ができるだけたくさんできるように願っています。

地震に備えて…

先日6月18日7時58分頃大阪府北部地震がありました。勢和地域でもかなりの揺れを感じました。23年前の阪神淡路大震災、7年前の東日本大震災のことをとっさに思い浮かべられた方もあったのではないのでしょうか。実は、大阪府では震度6弱以上の揺れを観測したのは初めてであったとのこと。この揺れで高槻市では、小学4年の女兒（9）が学校のブロック塀が倒れて犠牲になるという、痛ましい事故が起こりました。

本校では、その日の午前中に地震による倒壊の危険性のあるブロック塀等の点検を行いました。該当する塀はありませんでしたが、運動場南の大きな石やポール型の卒業記念制作は大きな地震で動く可能性があり、今後危険性について検討を要します。通学路におけるブロック塀等につきましては、先日の地区委員長会議で点検をお願いしました。今週末の地区懇談会でも情報交換と危険個所の確認をしていただきたいと思います。

PTA ビーチボールバレー交流会

先週金曜日の夜 PTA ビーチボールバレーの交流会がありました。これは、秋の町 PTA 親睦球技大会に向けて、PTA 保体委員会で企画していただいたもので、20数名の保護者の方に集まっていただきました。

このビーチボールバレーというゲームはもともと、1978年に富山県の朝日町で生まれたゲームです。（発祥の地の朝日町にはビーチボールのモニュメントが建っているというのは、ちょっと驚きです。）

このスポーツは4人制のバレーで、バドミントンのコートとネットを利用します。柔らかいビーチボールを使いますので突き指等のけがの心配がありません。そして、強く打ってもボールはすぐに失速するので、子どもから高齢者まで年

発祥の地 富山県朝日町のモニュメント



代を問わず誰でも参加しやすく、日本全国に定着しています。

ルールは、地域によってさまざまなのも特徴で、多気町ではコートに入ってきたボールに必ず3回タッチして相手コートに返さないといけないルール（スリータッチビーチボール）を採用しています。このルールでは、コートにいる4人の内必ず3人はボールに触れることになり、かなりのチームワークが必要される場所も面白さの一つです。

9月14日(金)と、10月の毎週金曜日が練習の日となっています。本番となる町のPTA連合会親睦球技大会は11月4日(日)です。PTA保体委員会では参加者の募集をします。練習だけでも参加して汗を流していただくのもOKです。是非たくさんの方に参加していただけたらと思っています。

7月の予定

4日(水) 交通安全教室（とまとーず）
通学団会

5日(木) 小西功泰さん「水生生物」の授業
スクールカウンセラー来校

6日(金) SOCS 授業(大豆の種まき)1~4年生

10日(火) 6年2組校外学習（いつきの宮）

11日(水) 4年生校外学習「中部プラントサービス」

12日(木) 6年1組校外学習（いつきの宮）
スクールカウンセラー来校

17日(火) 個別懇談会

（色太・土屋・車川・舟橋）

18日(水) 個別懇談会

（朝柄・古江・出江）

19日(木) 給食最終日 個別懇談会

（片野・波多瀬）

20日(金) 3限授業 全校集会

個別懇談会予備日

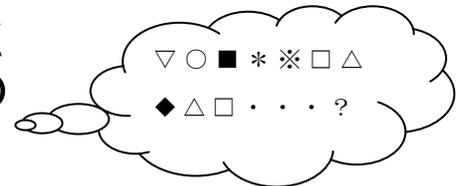
23日(月) 夏季休業 ~8月31日

地区水泳開始



校長のつぶやき

いざというときに備えて...



6月23日(土)に保護者の方対象に、2回目の救急法講習会をさせていただきました。

休日にもかかわらずたくさんの方にお集まりいただき、勢和分署の方々のご指導で心肺蘇生法の訓練をしました。

冒頭、勢和分署の方が「初めて訓練に参加される人はいますか？」と聞かれた時に、手を挙げられた方はほんの少力で、殆どの方が経験者でした。これは本当にすごいことで、勢和小学

校の保護者の方々の防災に対する意識の高さに感心しました。

私たち教職員も、毎年この時期に救急法の講習会をしています。職員の中にはもう何十回も経験している者もいます。でも、いざとなったら心肺蘇生法を思い出して適切にできるかという、やはり消防署の署員の方々のようにはいきません。だからこそ毎年確認していかなければいけないのです。倒れている人を目の前にしたときは、どんな人でも動転してしまいます。この訓練をしていただかげで、少しでも落ち着いて迅速に行動し、かけがえのない命が救われることもあります。改めて大切な訓練だと思いました。